

令和2年度 指定管理者制度導入施設モニタリングシート

●施設概要

施設名	中央運動公園温水プール	施設所管課	スポーツ振興課		
指定管理者名	一般財団法人古河市地域振興公社	指定期間 (評価実施年)	平成28年4月1日	～	令和3年3月31日
			(指定期間	5年	のうち 5年目)
施設設置目的	市民の健康増進・体力向上及び水とのふれあい、家族のふれあいの場の提供				
主な実施事業	施設の維持・管理運営に関すること				

●実績報告

開館・ 開園日数	利用人数 (人)	利用団体数 (団体)	減免数 (件)	指定管理料 (円)	指定管理者の収支状況			備考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
250	19,055		828	68,537,632	72,843,913	70,832,031	2,011,882	コロナウイルス感染防止による休館・利用制限あり

●管理運営状況

項目	評価基準(評価の観点)	評価内容				
		自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント	
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	ネーブルパークなど他の指定管理施設同様に、条例・仕様書等の規定を遵守し、管理運営を行ってまいりました。財政面でも健全であります。	A	施設管理全体の管理実績について豊富な経験を有しており、施設の管理運営の目的等も理解している。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である				
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある				
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている ・利用時間・開館日は協定書を遵守している ・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である	A	①利用時間・開館日は協定書を遵守しておりますが、繁忙期については時間を延長して営業しております。また、利用時間や利用料金の変更がある場合は必ず市の承認を得てから実施し、その周知については、市広報誌への掲載・温水プール公式ホームページ・ポスター掲示などの情報提供をしております。	A	管理運営の基本的事項については、基本協定・年度協定及び仕様書を遵守しており、公平性の確保に努め、利用者の意見等を反映した取り組みを行っていると思われる。
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている ・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている ・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている	A	②教室の申込受付は先着順とし、教室内容は利用者からの要望等を参考に開催しております。本年度は休館や利用制限が行われたため、春夏秋期については中止、冬期についてはコロナ対策のため人数を減らし実施しましたが、利用者からはおおむね好評を得ることができました。	A	苦情要望の対応については、迅速かつ丁寧な対応が取られていると思われる。また、利用者にとってよりよい環境づくりのため実施時期などを考慮し利用者アンケートを実施している。
	情報管理	個人情報保護や業務上知り得た秘密の漏洩防止策が講じられている 情報公開への対応は的確である ・業務上知り得た秘密や個人情報の適切な管理方法について定めた個人情報保護マニュアルが策定、更新されている ・情報管理について職員に意識付けされており、マニュアル通り運用されている ・情報公開規程が策定されている	A	③利用者からの問い合わせ、苦情等があった場合は、状況を把握し、迅速でかつ親切丁寧な対応を心がけております。 ④利用者アンケートは繁忙期に実施し、様々な意見の収集に努めています。	A	個人情報は、マニュアルに基づき、適切な管理をしている。
	利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている ・日常的に必要な安全点検を行っている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年1回の避難訓練を実施している	A	⑤情報管理や危機管理に関してはマニュアル、規程に従って行動するよう徹底しております。 ⑥利用者の安全確保のために、日常的に点検を行うとともに、専門部分の点検は、各種専門業者に依頼し、定期点検を行っています。 ⑦万一の溺水事故等にそなえ、随時、救命訓練を行なっています。	A	利用者の安全確保については、日常的に点検を行い、専門業者による定期点検を行うなど、維持管理を行っていると思われる。
	危機管理体制	事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている ・危機管理マニュアルが策定、更新されている ・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている	A	⑧年2回(9月・2月)の避難誘導訓練を実施しました。 ⑨「事故・災害等発生時対応マニュアル」「感染症に対する危機対策マニュアル」等が策定されています。	A	危機管理については、マニュアルが策定されており、緊急時に備えた避難誘導訓練の実施や溺水事故に備えた救命訓練を実施するなど、利用者の安全確保及び危機管理体制が構築されている。

3. 管理運営体制	人員体制	管理運営内容と整合した職員体制がとられている 必要な資格、専門的な知識を持った職員が配置されている 人件費の設定は適切である	A	①防火管理者、プール衛生管理者、ウォータースライド運行維持管理者、日本赤十字社水上安全法救助員など、温水プールの運営に必要な資格を所持した人員を適正に配置しました。 ②コロナ禍で集合講習への参加が困難であったプール衛生管理者の資格更新は自宅学習型で実施し、資格更新しました。公社内では外部講師を招いてのコミュニケーションセミナー、メンタルヘルスセミナー、ハラスメント研修、交通安全講習などを実施しました。	A	人員体制については、運営に必要な有資格者などを配置し、人材育成のための研修会等を行っており、適正に運営されていると思われる。			
		・業務遂行のための適切な職員体制がとられている ・業務遂行に必要な資格を持った職員を確保しており、適正に配置している ・勤務時間・賃金・雇用等において労働基準法等関連法令を遵守している							
	人材育成	職員の育成、資質向上のためのきめ細やかな取組が実施されている	A	③「プールの安全標準指針」、 「遊泳プールの衛生基準」などに基づき、安全衛生管理に取り組んでおります。 ④日常及び定期清掃、保守点検を実施し、施設の維持管理に努めております。 ⑤専門性の高い業務等は、事前に市の承認を受けてから再委託を行うとともに、その業務が適正に行われるよう管理監督を行っております。	A	コロナ禍により研修の実施等が難しい中でも、積極的な人材育成に取り組んでいる。			
		・職員の育成、資質向上のための研修を実施している ・職員の技術向上のための研修を実施している ・利用者に対して気持ちの良い対応をしている							
施設の維持管理	施設の機能維持、物品管理の方策は適切である	A			維持管理については、施設及び設備の老朽化等により、安全管理に苦慮していると思うが、細部の安全確認等を行い、利用者の安全確保を優先した取り組みが行われている。				
	・施設を清潔で衛生的に保っている。 ・施設の機能維持に必要な保守点検業務を実施している ・修繕が必要な箇所や危険箇所を早期に把握できるような体制がとられている ・法定点検を実施し、遅滞無く市に報告している ・備品を良好に保ち、備品台帳で適切に管理している								
業務委託	再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切である 再委託業務の成果確認の方法は適切である					A			再委託の委託方法及び委託先等は適切である。
	・委託先を決める際に数社から見積もりをとるなど、委託方法及び委託先は適切であり、事前に市の承認を受けている ・再委託業務の成果確認を実施している								
4. 施設の効果的活用	広報・PR	利用者の増加を図るための広報計画や数値目標が適切である 魅力的なサービスや利便性向上につながる提案がなされている	A	①教室開催などの情報発信は温水プール公式ホームページを利用し行うとともに、チラシを作成し、館内での配布や市広報誌への掲載などを行いました。 ②コロナ禍で、各種教室の開催が当初の計画通り開催することができませんでした。 ③幼児、小・中学生の利用促進のため、「キッズ・ポイントカード・キャンペーン」を実施しました。	A	迅速で効果的なPR活動に取り組んでいた。			
		・各種媒体を利用した利用促進の取り組みを実施している ・利用促進の取り組みの成果を把握している							
	施設の活用	施設の利用拡大のための事業、または自主事業の取組が検討されている。	A			新型コロナウイルス感染症予防対策等により、自主事業の推進が計画通りとはいかなかったが、可能な範囲でのイベント実施ができていた。			
	・魅力的な企画やイベントの実施により、利用者数や稼働率に効果がみられる								
5. 効率性	経費削減・収支バランス	経費削減のための方策は、無理がなく実現可能なものである 設定額（サービスとコストのバランス）は妥当である	A	①プールに関わる会計は、他の会計と区別して行っています。 ②収入はコロナ禍の休館、利用制限などにより、予算に対して大きく下回ることとなりました。 ③修繕費については、空冷クーラー関係やポンプの修繕、トイレ照明器具(LED)への交換などを行ったことにより、5年間予算額の2,500万円を上回っています。 ④経費削減については、サービスが著しく低下しない範囲で節電、節水等を行いました。	A	収支減少の主な要因は、新型コロナウイルス感染症予防対策にともなうプール利用制限や施設修繕料の増によるもので、経営上の問題ではないため、その他の収支バランスについては良好と思われる。			
		・利用料金収入は当初見込みと乖離していない ・修繕費は適切に執行されている(過剰な剰余金はない) ・収支計画書の範囲内で適正に予算を執行している ・指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしている ・経費削減は施設機能の低下等なく実施されている							

【評価基準】

SS	優良: 仕様書等の業務要求水準を上回る効果的・画期的な取組により、優れた成果があったもの【コメントに取組内容・効果の具体例を記入】
S	良: 仕様書等の業務要求水準を上回る取組がされているもの【コメントに取組内容の具体例を記入】
A	普通: 仕様書等の業務要求水準どおりに行われているもの
B	不十分: 仕様書等の業務要求水準に達しておらず、さらなる努力・改善が必要なもの
C	不備: 仕様書等に基づく実施すべき事項が履行されておらず、指導や事業内容の見直しが必要なもの

●総括評価

指定管理者	1年間の自らの管理運営状況、施設の実績等を評価し、翌年度の課題等があれば記入してください。	本年度の売上収入を含めた利用料収入は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館、利用制限などの影響により、予算対比73%減、前年度対比69%減と大きな落ち込みとはなりました。教室の開催につきましては冬期のみで開催となり、募集人数を減らし感染防止対策を行いながら、各種水泳教室、ヨガ教室、美容と健康体操教室の合計15教室を実施しました。また、利便性の向上のために行っている、繁忙期の利用時間延長、7、8月の入替回数の削減や夜間の部における利用料金の減額など、本年度も引き続き行いました。施設の維持管理につきましては、「プールの安全標準指針」を遵守するとともに、「遊泳用プールの衛生基準」及び「茨城県遊泳用プール衛生指導要綱」に沿った水質管理をはじめとした衛生管理を行い、安全で衛生的な利用環境の提供に努めました。また、コロナウィルス感染症対策につきましては、利用者に対してチェックシートの提出、体温測定、プール室以外でのマスクの着用、手洗い消毒の実施などをお願い、管理者としては利用人数の制限、施設内の消毒、利用者への利用方法の注意喚起などを行い、次年度も継続してまいります。翌年度の課題としましては、施設の安全や運営に係る重要な課題であります施設の老朽化(ウォータースライダー、可動式上屋、プール室照明、エレベーター等)への今後の対応となりますが、改めてご検討いただけますようお願いいたします。
所管課	事業報告書の内容、利用者アンケート及び実地調査の結果等を多角的に評価し、指定管理者制度導入の効果を検証してください。	新型コロナウイルス感染症予防対策による施設利用の制限等があり、利用者は減少したものの、利用者の安心安全を最優先に考え、感染症対策等において日々尽力されていた。収支減少の主な要因は、新型コロナウイルス感染症予防対策にともなうプール利用制限によるもので、経営上の問題とはいき切れないため、今後も引き続き健全な財政運営に努めていただきたい。なお、自主事業である冬期教室については、新型コロナウイルス感染症予防対策のため人数を減らしながらの実施となったが、利用者からおおむね好評を得ることができたということで、今後についても効果的なPR活動、実施内容の充実化等、計画推進に努めていただきたい。また、施設を安心して利用できるよう「プールの安全標準指針」「遊泳プールの衛生基準」などの指針に基づき、再度確認し安全衛生管理に取り組んでいただきたい。施設の老朽化(ウォータースライダー、可動式上屋、プール室照明、エレベーター等)による修繕についても、連携を取りながら早期に対応できるよう進めていく。